

一般演題 2-3

高気圧酸素治療における臨床高気圧酸素治療技師によるプリセプター制度の検討

石川勝清<sup>1)</sup> 遠田麻美<sup>1)</sup> 岡本花織<sup>1)</sup>  
 竹内千尋<sup>1)</sup> 佐々木亮<sup>1)</sup> 前野 幹<sup>1)</sup>  
 太田 稔<sup>1)</sup> 敦賀健吉<sup>2)</sup> 加藤 類<sup>2)</sup>  
 伊藤亮子<sup>2)</sup> 橋本聡一<sup>2)</sup> 森本裕二<sup>2)</sup>

- 1) 北海道大学病院 ME機器管理センター
- 2) 北海道大学病院 麻酔科

【はじめに】高気圧酸素治療 (HBO) では安全な技術提供, 治療環境の整備, 安全性に対する知識の習得が必須である。当院では平成10年8月から専任臨床工学技士 (CE) 1名で第二種装置 (川崎エンジニアリング社製KHO-301-B) のHBOを開始し, 現在ではME機器管理センター業務の一環として臨床高気圧酸素治療技師1名とCE 6名によるHBOおよび夜間休日の待機体制を実施している。今回, 新卒業者のHBO業務修得において臨床高気圧酸素治療技師による評価シートを用いたプリセプター制度を導入し有用性を検討する。

【対象・方法】新卒業者を対象に臨床高気圧酸素治療技師によるHBO評価シートを用いた研修を行った。HBO評価シートは基礎知識, 患者対応, 装置点検, 装置準備, 装置操作, 緊急対応の6項目を更に24項目に細分化し5段階 (0~5点) で点数化したものを用いた。研修の評価は1ヶ月毎に実施し3ヶ月目における24項目の合計点数がプリセプターとプリセプティが共に90%以上で合格とし, どちらかの点数が90%未満の場合は研修を追加した。評価項目の詳細は (表) に記す。

【結果】臨床高気圧酸素治療技師がプリセプターとなりプリセプティの評価点数を1ヶ月毎に分析することにより3ヶ月間で最低限の安全を確保したHBO業務を修得する事が可能であった。また研修項目の点数化により問題点が明にされ継続した指導と修習が可能であった。

【結論】新卒業者のHBO業務修得においても臨床高気圧酸素治療技師による評価シートを用いたプリセプター制度の導入は有用と示唆された。

(表)

評価項目	
◇	知識
■	基礎
	・高気圧環境下の物理・呼吸生理の理解
■	臨床
	・安全管理・副作用・適応疾患・再圧治療・事故の理解
◇	装置点検
■	機械室目視点検
	・異常が無いか確認でき対応できる。
■	地下機械室加湿消化タンク
	・タンク内水位を適切に保ち給水できる。
■	操作盤異常
	・表示される異常, 警告に正しく対応できる。
	・メーカー等への連絡, 確認を適切に行える。
■	システム系統図
	・室外設置酸素, 窒素タンクから治療室内の系統図の理解
◇	患者対応
■	持ち込み物の確認・対応。判断
	・患者が持ち込んではいけない物が区別できる。
	・各種ドレーン, 点滴, 挿管チューブに対応判断できる。
■	患者への応対
	・優しく丁寧に患者の気持ちになって対応できる。
■	患者への耳抜き指導
	・治療前説明, 治療中説明が適切に行える。
■	患者へのHBO説明
	・患者に質問されたときに簡潔に説明できる。
■	新患時の外来との対応
	・麻酔科外来へ指示書を受取, Dr, NSと治療条件の確認を行い, 治療条件変更等の助言ができる。
	・状況に応じてHBO室スケジュールを組める。
◇	準備
■	準備が正しくできる
	・着替え, マスク等の用意, イス, カメラのセッティングができる。
◇	機器操作・緊急時対応
■	操作盤を正しく扱い治療できる
	・治療パターンを理解し正しく操作できる。
	・副室を正しく利用できる。
	・手動減圧が正しくできる。
	・災害時等に電源供給無の状態を手動にて減圧開扉できる。
	・サービスロックを正しく利用できる。
■	監視
	・治療中の患者のモニター監視が適切にできる。
■	治療中の操作盤異常
	・表示される異常, 警告に正しく対応できる。
	・メーカー等への連絡, 確認を適切に行える。
■	救急カート
	・HBO室内の救急カート内薬剤, 物品への知識があり対応できる。